

不祥事防止への取り組み

取手市立白山小学校

校長 沼田 百合恵

教育は、信用・信頼で成り立っています。教職員による不祥事は、その信用・信頼を失墜させる重大な問題であり、絶対にあってはなりません。子供たち、保護者、地域の方々に信用・信頼される学校であるために、本校から絶対に不祥事に関わる職員を出さないという覚悟をもって教育活動にあたります。子供たちの笑顔とよりよい成長のために、不祥事根絶に向けた教職員のコンプライアンス意識の高揚と風通しのよい職場風土の醸成をすべく、次のように取り組んでいます。

1 自分事として考え、組織で取り組むコンプライアンス研修の実施

不祥事防止に向けて、年間研修計画に基づき、コンプライアンス研修を組織的、計画的に実施しています。管理職主導によるトップダウン型、または、教職員主導によるボトムアップ型により、事例をもとに未然防止策や対応策について考えるグループ討議や県の通知文等の共有、専門家による動画の視聴やチェックリストでの振り返り等、不祥事を自分事として考え、研修に取り組んでいます。

2 不祥事防止のためのルール・校内の環境整備

多岐にわたる不祥事の未然防止のために、各事案におけるルールづくり・ルールの徹底をしています。例えば、学校徴収金取扱要項や個人情報取扱要項に従って組織で対応することや、個人所有のスマートフォンを校内使用ルールに従って使用すること等です。また、毎月の安全点検や日常の管理職による校内巡視、職員の放課後の校内点検等で、各教室やトイレ等に不審物が置かれていないか確認しています。さらに、教室や机上を定期的に整理し、違和感に気付ける環境づくり等、不祥事の未然防止のための校内環境整備も進めています。

3 不祥事防止体制の強化

組織で不祥事防止を図っていくためには、職員個々のコンプライアンス意識の高揚と職員相互の情報共有が大切です。そこで、職員一人一人がコンプライアンスに関する目標を立て実践するとともに、管理職や同僚との情報の報告・連絡・相談・確認を徹底し、問題に対して組織で対応しています。

4 風通しのよい職場環境づくり

ストレスや悩みごとが不祥事の起因にならないよう、何かあった時には悩みを一人で抱え込まず、気軽に相談するよう共通理解を図っています。また、学年やブロック、部会等で受容的・共感的な関係を意識し、組織的に教育活動を行っています。さらに、管理職もアンテナを高くはり、日常的に職員の様子を観察し、コミュニケーションを大切にしながら、小さな違和感を見逃さず対応しています。

白山小学校の全職員が一丸となって、「自分の学校から、不祥事を起こさない、起こさせない」を合い言葉に、今後も不祥事防止に取り組んでまいります。